

今週は「朝食を見直そう週間」です!

今日の通学班会議で、登校時刻の調整・変更の話し合いをしました。現在、その結果を一覧表にとりまとめ中です。確認ができた時点で配信します。出発時刻の変更は、来週の月曜日からとなります。ご対応方、よろしくお願いいたします。

家庭と学校ががっちり手を繋ぐ2年目に

☆☆矢野目小学校教育目標☆☆互いを大切に、笑顔で協働する子どもも☆☆自ら学び、深く考えて行動する子ども☆☆心と体を鍛え、命を大切にする子ども

令和6年度矢野目小学校 学校だより

みんなの広場 2

笑顔があふれ、明日もまた来たくなる学校

2024.6.18 発行 No.36 文責 目黒 満

子育てのヒント Part 1 ~小学校6年間の成長を見通して~

今年度、本校の全校児童は334名。その一人ひとりが育ってきた家庭や保護者の養育に対する考え方、子どもとの接し方、躰の方針、保護者自身の生活経験や生活習慣とそれに基づいたわが子への体験の場の提供状況、どんな人と接してきたかや日常の言葉遣い等の言語環境、発達や成長のスピードや特性の違いがあり、一人ひとりがそれぞれの育ちをしてきています。

もちろん、生まれついた特性や感受性、また自閉的傾向や能力・感覚のバランス等も大きく影響し、子どもたち一人ひとりの「今の姿」になっています。

そんな多様な子どもたち同士が、学校という一つの空間で、朝から午後までの6~7時間(一日の覚醒時間の半分近く)を一緒に生活することで、学校でしか学べないことを日々、学んでいます。

同年齢を中心とした親・兄弟以外の人、言い換えれば「家庭以外の社会」と接することで、子どもたちは次のようなことを学びます。

- どうやって上手に協調したり、協働したりするか
- 対立したときに、どう折り合いをつけるか
- 他の人や集団の前で、自分の感情の高ぶりや動揺・緊張等をどうコントロールするか
- 自分の一時の感情や迷い等からの嘘や間違っただ行動をしてしまった後、どう解決・改善するか
- 失敗したときにどう対応し、その後、同じ失敗をしないようにどう判断し、行動するか
- 他の人に、自分の考えや思いをどんな適切な言葉で伝えるか
- 壊れたり壊れそうな人間関係をどうやって修復するか……

学校は、こうしたことを学ぶ場です。学校での経験は、これまでに経験したことがないことの方が多く、初めての経験を日々子どもたちは重ねています。

学校は、初めての経験を積み重ねていく場所です。初めてのことなので、当然失敗してもいい場所です。初めからうまくいく人はそういません。

失敗したら、その失敗を振り返り、この次はどうしたらいいかを考え、自分で判断し、改善したやり方で再チャレンジできる場所と時間が小学校生活です。その中で一つずつ、折り合いの付け方を身につけていくのが成長するということです。

親は、子どもに一番近い大人として、その失敗について一緒に考えたり、子どもが考えたことに対して、大人としての目線で、寄り添ってアドバイスすることが大切になってきます。

親は、わが子より先に寿命を全うするのが正しい姿です。親が亡くなってからも、わが子が自立して生きていける力を付けさせることが親の役割です。

わが子が、これから先の長~い人生を「よりよく生きていく」=「周囲の人から愛される人になる」ためにはどう行動すればいいかを、わが子に寄り添いながら、同時に親自身の社会経験を生

かし、客観的な視点からアドバイスしていくのが親の役目です。

そのためには、小学校の6年間で、子どもはどんな成長をしていくのかを理解しておくことがとても重要です。

「小学校の1年生から6年生になるまでにこんな力が付くんだ」「だんだんと、こういったことがわかるようになるんだ」「親として、こんな風に接すればいい」という資料を参考に、学年に応じてその都度判断して、子どもと向き合うことが親としての成長にも繋がるはず

6年間で身につける力については part2にて!